

まちのわだい



▲力強い太鼓演奏をする伊方堂々太鼓ジュニア

家族連れなどでにぎわう ～長浜地区生活文化祭～

11/22(土)・23(日)

秋季恒例の長浜地区生活文化祭が、長浜ふれあい会館と商店街を中心に繰り広げられました。ふれあい会館では、文化協会会員や一般の団体・個人の手芸、生け花、写真、書をはじめ、幼稚園・保育所園児、小・中学生の絵画や工作などの作品が数多く展示され、訪れた家族連れなどが熱心に見入っていました。

23日(日)には、商店街が歩行者天国にされ、各種バザーや出店などのテントが並びました。イベントコーナーでは、地元大

和小学校の「伊予長浜豊年踊り」と大洲の「大洲臥龍太鼓子供チーム」、伊方町の「伊方堂々太鼓ジュニア」の太鼓演奏が披露され、多くの観客から盛んな拍手が送られていました。

安心して食べられるもの

～「第4回しいたけフェスタ2008in大洲」を開催～

11/23(日)

地元で生産されているしいたけに対する理解と消費拡大を呼びかける「しいたけフェスタ2008in大洲」が、オズメッセ21駐車場で開催されました。大洲市は、県内一の生産量を誇る全国でも有数のしいたけ産地です。品質の良い大洲産のしいたけは、「味楽来しいたけ」として、現在ブランド化が図られています。開会式で大森市長は、「安心して食べられる、地元産味楽来しいたけの出番が来ました。こうしたイベントを通じて、より知名度をアップさせ、全国的に需要が増えることを願っています」とあいさつ。

フェスタは、午前10時に大和獅子舞で開幕。ステージ上では2人1組による「椎茸菌の種駒打ち王者決定戦」などが行われ、盛り上がりを見せていました。また会場内には、乾燥しいたけのつかみ取りや、種駒打ち体験コーナーなど数多くのブースが設けられ、炭火焼きコーナーでは、多くの来場者がにくあつの味楽来しいたけに舌鼓を打っていました。



▲一般の参加者による駒打ち王者決定戦のようす



▲稚児行列の一行と花みこし（西滝寺にて）

「るい姫まつい」開催（白滝公園）

11/23(日)

このまつりは、戦国時代の末期に長宗我部勢の猛攻により落城し、白滝に追い詰められた奥方瑠璃の方が、2歳の世継ぎ尊雄丸を抱いて滝壺に投身したという悲話伝説があり、そのるい姫を供養するまつりです。当日は、るい姫に扮した女兒21人が艶やかな衣装を身にまとい花みこしを担いだ男児と共に、西滝寺から商店街を通過して滝の頂上付近のるい姫塚まで稚児行列を行いました。るい姫塚で供養後、多数の観光客が見守る中、花みこしを滝壺に投下してるい姫の霊を慰めました。

秋晴れの下、市内外から約3,000人の観光客が訪れ、見ごろを迎えた紅葉を満喫していました。

まちのわだい



▲楽しくテニスができました

硬式テニスにチャレンジ ～硬式テニス教室～

12/6(土)

テニスプレイヤーの長塚京子さんが、大洲市総合体育館で硬式テニス教室を開催しました。長塚さんは、杉山愛さんとダブルスを組み、アジア大会金メダルやアトランタ五輪出場など、輝かしい成績を収めておられます。

今回の教室は、文部科学省などが開催するトップアスリート派遣指導事業によるもので、この日は市内の小・中学生30人が教室に参加しました。

長塚さんは講演の中で、自身の小中学生時代のライバルとのエピソードを披露し、「みんなくらいの時期が大切。やりたいことをとことんやれば、その後、その道をあきらめて進路変更することになっても他の事にそのパワーは活かせるはず」と話されました。

その後の実技指導では、この教室で初めて硬式テニスをする参加者も多かったのですが、長塚さんの丁寧で的確な指導に硬式テニスの難しさと楽しさを実感しているようでした。

真っ赤なイチゴがなりました ～観光いちご園開園～

12/10(水)

J A愛媛たいき観光いちご研究会の徳田いちご園と川本いちご園が開園しました。徳田いちご園には12月14日(日)の開園に先立ち、肱北保育所の園児23人が招待され、一足先に真っ赤なイチゴを味見しました。徳田いちご園では、「紅ほっぺ」「さがおとめ」「あまおとめ」の3種類のイチゴが栽培されており、園主の徳田隆行さんによると、今年のイチゴは出来がよく、甘いイチゴになっているとのことでした。

「紅ほっぺ」の栽培されているハウスの中に入った子どもたちは、徳田さんに摘み方を教えてもらい、思い思いに大きく甘そうなイチゴを見つけてはかぶりつき、口のまわりを真っ赤にしながらかつて笑顔で「甘い！」と歓声を上げていました。

【問い合わせ先】徳田いちご園(東若宮) ☎090-4335-2925 川本観光いちご園(菅田町成見) ☎090-3784-0150



▲甘いイチゴを頬張る園児



▲一斉にスタートをきりました

第26回肱川健康マラソン大会

12/14(日)

第26回肱川健康マラソン大会が肱川中学校を出発地点として行われました。1 km、2 km、4 kmの10部門に分かれ、小さい子どもから保護者、中学生まで191人が参加しました。この日は、朝から小雨が降っており大変心配しましたが、開会式が始まると雨が上がり、曇り空の中無事に大会を行うことができました。

走り終わった参加者には、青年団手作りの豚汁が振る舞われ、疲れた身体をいやしていました。

完走をめざして ～河辺中学校マラソン大会～

12/17(水)

晴れ渡った冬空の下、生徒の体力づくりと精神の鍛錬を目的に、河辺中学校マラソン大会が開催されました。

スタート地点の市役所河辺支所前に集まった生徒らは、村上校長から「マラソンは自分との闘いです。完走をめざして頑張りましょう」と激励を受け、3年生の友友正太さんの力強い宣誓のあと、沿道の声援を受けながら男子3.5 km、女子2.5 kmのコースを一斉に走り出しました。

最初は余裕を見せていた生徒たちも、コースを折り返すころには次第に疲れを見せ始めましたが、全員が最後まであきらめずに頬を真っ赤にしながらかつてゴールを駆け抜けました。



▲最後まで全力で！



▲大洲警察署付近でゴミを拾う参加者

第8回 年末恒例清掃

～真冬の清掃ボランティア～

12/20(土)

東大洲一円で、「年末恒例清掃」(肱川流域会議水中めがね 坂本芳教会長 主催)が行われました。開会式で大森市長は、「続けることは、なかなか大変なことですが、素晴らしいことです。この年末の寒い時期に毎年感謝しています」とあいさつ。

この日、参加したのはおよそ100人。あらかじめ設定されていた4つのコースに分かれ、ペットボトルや空きカンなど2トントラック2台分のゴミを集めました。坂本会長は、「第1回目は、7人で始めました。このように多くの人に参加してもらえる活動になっていることがうれしい。こうした活動を通じて地域を少しでも元気にしていきたい」と話されていました。

巧みな技が交通安全に一役

～しめ飾りで交通安全～

12/24(水)

恒例となっている、老人クラブ河辺支部の交通安全しめ縄、しめ飾りづくりが基幹集落センターで行われました。巧みな技で次々と作られるしめ縄、しめ飾りは見事なもので、またその速さにはびっくり。私たちは、この技術を伝承していかななくてはと考えさせられました。

この日作られたしめ飾りは、中学生の作った折り鶴といっしょに、交通安全祈願祭でおはらいを受けた後、交通茶屋で道行くドライバーに渡されました。ドライバーの皆さん、歩行者の皆さん、交通安全に気をつけ、交通事故を起こさない、遭わないようにしましょう。



▲交通安全への願いを込めて！

今回開催された大洲市
自主防災組織活動支援講

要援護者対策 急がれる災害時

づくりが求められていることから、災害時に被害の軽減を図ることができるとの組織活動に取り組むことが大切です。



▲身近にあるストックを活用した救護法

講習会では、日赤愛媛県支部の高須賀紀子係長が阪神淡路大震災での救援活動体験を交えて講演し、災害が及ぼす心と体への影響、被災者と接するときの心づかい、気をつけたらいい病気や症状、救護法や避難所でのリラクセス法などを指導しました。



▲毛布の両端を丸め担架の代わりに

市役所危機管理課
24 2111
(内線352)

【問い合わせ先】

市では、これからも、様々な研修の機会を設け、市民の皆さんへ参加を呼びかけていくことにしています。



▲体位交換のコツを身に付ける

参加者からは、「たのしく学ぶことができた」、「ためになった」といった感想や、「身に付けた知識や技術を、地域にもっと広めたい」と今後の取組についての声もあり、たいへん有意義な講習会となりました。

地域防災力の向上のために



シリーズ防災 No.11

（財）自治総合センター宝くじ助成事業

（財）自治総合センター 宝くじ助成事業

地域づくり活動を支援します

平成20年度自治総合センター宝くじ助成事業により
地域活動を実践する団体が、備品整備を行いました。

村島獅子保存会

【祭り用具整備…

獅子舞備品整備】

郷土芸能として地域住民に親しまれている「村島獅子舞」の備品を整備し、保存会活動をより活発なものとし、貴重な郷土芸能の保存伝承を図るとともに、明るく住みよい地域づくりに取り組めます。

【整備した備品】

獅子頭、宮太鼓、縮太鼓、衣装ほか



柳沢獅子舞保存会

【祭り用具整備…

獅子舞備品整備】

柳沢獅子舞保存会は、郷土芸能の継承、あわせて地域の青少年健全育成やコミュニティ発展のため活動しています。今回の備品整備により、活動を充実させ、地域コミュニティのさらなる発展を目指します。

【整備した備品】

太鼓、縮太鼓、のぼり、法被ほか



宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。



宝くじは、広く社会に役立てられています。

宝くじ助成事業とは？

自治総合センターでは、住民の行うコミュニティ活動を支援しています。

この助成事業の財源には、宝くじの普及広報事業費として受け入れる宝くじ受託事業収入が充てられています。

【問い合わせ先】

市役所企画調整課

☎24 2 1 1 1 (内線523)

第48回 大洲市駅伝大会 12月6日(土)

第48回大洲市駅伝大会が、市役所立休駐車場前を出発地点として、10区間(30・9キロ)と、8区間(22・3キロ)の2つのコースで開催されました。

参加者は、中学生から社会人までの53チーム、576人。

師走に入り最初の土曜日となったこの日は、冷え込みが厳しく時折雪がちらつく中での大会となりました。各チームのランナーは沿道からの声援をうけながら、軽快な足取りで各区間を風のように駆け抜けていきました。ゴールの市民会館では、自分のチームが先頭で

姿を見せると、チームメイトや応援にかけつけた家族から、歓声が沸き起こっていました。

来年度の駅伝大会からは、大洲市駅伝大会と長浜駅伝競走大会を統一して、新しいコース設定で開催されるそうです。

中学男子の部

- 優勝 長浜中学校A
- 準優勝 新谷中学校A
- 第3位 大洲北中学校選抜

中学生女子の部

- 優勝 新谷中学校A
- 準優勝 肱東中学校A
- 第3位 平野中学校A

一般男子の部

- 優勝 平公民館
- 準優勝 大洲記念病院
- 第3位 平野PTA



▲たのむ。まかせとけ。